



# 中部部報 第1号

2017. 7. 1～2018. 6. 30

## 主 題

- 国 際 会 長 「ともに光の中を歩もう」  
 ア ジ ア 会 長 「ワイズ運動を尊重しよう」  
 西日本区理事 「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」  
 中 部 部 長 「愛し合い、助け合い、心はいつも青春！」

ワイズメンズクラブ西日本区中部各クラブ  
 メンバーの皆様



中部部長 山内ミハル  
 部報の発行が大変遅れましたこと、お詫びいたします。

7月 Kick-off を迎え、新たな意欲をもって今期を始めました。まずは、9月に予定しました中部部会を成功させるべく毎週土曜日夜をその準備に

あて、我が家作業所にキャビネットを中心にした話し合いを始めました。何しろメンバー10人の弱小クラブ、時間や資金力に制限がある中、陸の孤島・金沢に集まっていた皆様へ、「来てよかった！」と満足していただける会にしたいと、知恵を絞りました。中部の皆様のご意見もあり、中部部会と金沢クラブ創立70周年記念例会を同日にしたということも、プログラムの内容を難しくしました。

前泊していただく方の為の前夜と、日帰りに来ていただく方を待つための当日の午前の、それぞれのプログラムに工夫を加えなければなりません。また来賓挨拶を、参加者名簿の中から大野西日本区理事、親クラブの大阪クラブ清水汎副会長、金沢 YMCA 朝倉理事長の他、金沢市も

皆様の来澤を歓迎しているとの思いを込めて、山野之義市長にお願いしたところ、皆様から快諾を得ることができホッとしました。講演者としては「金沢らしさ」にこだわり、知人の加賀友禅作家の毎田仁嗣氏、横笛奏者の藤舎真衣氏に依頼しました。詳細については下記に西書記と幸正会長に執筆していただきました。

部会及び記念例会を終えて、ホッとする間もなく、西日本区各部の部会が9月～10月に目白押し、まだ宮仕えの身の私はすべての部会に参加する事はできませんでしたが、それぞれ特徴があり勉強になりました。その報告は部長通信でさせて頂く予定ですが、中部からは私一人の参加がほとんどでしたが、4月に行われた第1回準備役員会で役員特に9部の部長の絆が固く結ばれ、孤独で寂しい思いをすることもなく、楽しませていただき、また次回お会いするのが楽しみにになりました。これこそワイズの神髄であると思いました。

会員減少の中にあるワイズメンズクラブですが、見知らぬ遠き地に知人ができ、共に学び、共に楽しむことのできるこの喜びを、多くの方々に伝えていきたいものです。

## 第 21 回中部部会、金沢クラブ創立 70 周年記念式典開かる。



秋の初めの敬老の日、9月18日に金沢ニューグランドホテルで、第21回中部部会と金沢クラブ創立70周年記念式典が開かれた。前日に開かれたフェロシップアワーでは、大野理事によってギター伴奏でリードされた懐かしいフォークソングの合唱で大いに盛り上がり、翌日の城庭ツアーでは、夜中を通り去った台風の影響は殆ど無く、雨上がりの尾山神社、金沢城、兼六園を楽しむことが出来た。

午後の正式プログラムの中中部部会では、バナーセレモニーに始まって、短い礼拝の後、山内部長、大野理事の挨拶があり、続いて、山野之義金沢市長、朝倉秀之金沢YMCA理事長の挨拶があった。西日本区ワイズ将来構想特別委員長の森田恵三ワイズによる将来構想の説明の後、加賀友禅作家の毎田仁嗣氏による加賀友禅創作についての記念講演が行われ、加賀友禅が細かな一つ一つの手作業と長い時間を経て出来上がることが良く判った。上の写真は、その後に撮られた記念集合写真である。

続いて行われた金沢クラブ創立70周年記念式典では、幸正金沢クラブ会長の挨拶に続き、スポンサークラブの大坂クラブを代表して清水汎副会長が祝辞を述べられた。金沢クラブの70年の歩みの紹介が、数澤輝夫中部事務局長からなされ、YMCAの歌の合唱に続いた閉会点鐘で閉じ

られた。

この後行われた懇親会では、藤舎真衣氏によって流麗な横笛演奏が披露され、効果的な照明も印象深く、参加者を魅了した。アトラクションでは、会場から多くの皆さんが飛び入りで舞台に出て頂き、歌や合唱で大いに盛り上がった。



第21回中部部会

## 感謝

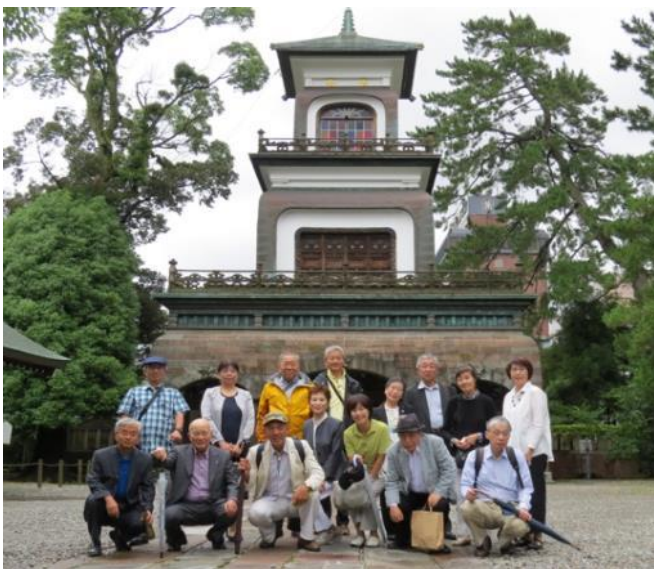
金沢クラブ会長 幸正 一誠

金沢クラブは今年創立 70 周年を迎えました。

第 21 回中部部会の後、西日本区キャビネットの皆様始め、各地より多くのワイズメン・メネットにご参加頂き盛大に祝って頂きました。心より感謝申し上げます。取り分け、親クラブの大阪クラブ、兄弟クラブの滋賀蒲生野・仙台広瀬川の両クラブ、子クラブの金沢犀川クラブの皆様のご参加は当クラブのオールファミリーの集いの様で心を熱くしました。祝会では、大野理事、草津クラブの一井ワイズには会を楽しく盛り上げて頂きました。心より感謝申し上げます

70 年の長い歴史の中には紆余曲折が多々有りました。その歴史はまた、YMCA と手を携え歩んできた歴史です。70 年もの長きにわたって、ワイズスピリットを保ち続けた先達の計り知れない深いクラブへの「愛と祈り」に敬意を表すと共に、その歴史を継承する担い手として明日のワイズダムをこの金沢の地に拡大すべく、「いざ立て 心あつくし」と歌いつつ歩んで参ります。

70 周年記念祝賀会に御参加を賜り心より深く感謝申し上げます。



城庭ツアー：尾山神社山門前で

## 役員からのメッセージ・報告

### ワイズについて、今思うこと

次期中部部長 東海ワイズ柴田洋治郎



まず、YMCA への奉仕は、ワイズ定款の目的の項の冒頭に記されていること、更には、我々はワイズと同時に YMCA の会員でもあることから、ワイズの在り方の一丁目一番地と思います。YMCA は永い歴史を持ち、多くの価値をこの国に根付かせた公益組織であることは、言を俟ちません。このブランド力ある特殊な組織と協働するだけでも、ワイズの主たる目的を果たしていると言えます。次に EMC 事業ですが、大変重要な項目であるという認識はありますが、極めて困難な項目というのが、現在の私の偽らざる気持ちです。これについては、日本の少子、高齢化という現実からワイズも逃れられないからです。そこで、渋沢栄一翁の次の言葉を掲げます。「40, 50 は漬垂れ小僧、60, 70 は働き盛り、90 になって迎えが来たら 100 まで待てと追い返せ」。つまり、各種事業に貢献すると同時に、元気なシニアの集う場所であり、楽しい交流とお互いの涵養の場としてのワイズであっても良いと、私は考えます。

### 中部書記をお引き受けして

金沢クラブ 西 信之



金沢クラブの会長が終わってほっとしていましたが、中部の書記だということで、その責務を自覚する暇もなく評議員会議、中部部会、部

報や部長通信の編集といった様々な仕事が出てきて、なかなか時間がとれない中をなんとかへばりついています。様々なご迷惑を皆様におかけしていると思うと、なかなか辛いものがありますが、皆様の支えによって綱渡りができていますことを感謝いたします。また、中部部会には各支部から多くのご参加をいただき、大変感動しました。この絆を大切に今後につとめを果たして行きたいと思えます。どうぞ、よろしく願いいたします。

## 今、ワイズにできること～

Yサ・ユース事業主査 小林滋記



日本YMCAは2016年6月にYMCAブランドコンセプト発表に続き2017年6月にYMCAブランドスローガンと新しいロゴが発表されました。私たちも掲げられたビジョン・バリュー・パーソナリティを理解して新しいロゴがしっくりくるようにしたいですね。(10月4日時点で同盟のロゴは前のままですが?) 今期Yサ・ユース事業の山川新一主任は事業主題に「YMCAと共に、ユースリーダーと共に～今、ワイズにできること～」を掲げスタートしました。中部各クラブもできることから始めましょう。Yサ・ユースの活動情報お待ちしております。

## 献金ゼロクラブを無くそう

中部地域奉仕・環境事業主査 浅野 猛雄



吉田 由美事業主任(大阪なかのしまクラブ)は事業方針の中でY'Sのモットーである『強い義務感』は各クラブが行う奉仕活動に各個人が道具として意識を持って参加してこそ生まれると信じます。またその行動の結果が、各人の成長とクラブの活性化へつながっていく

事でしょう。とアピールをしています。

中部では各クラブがそれぞれ素晴らしい地域奉仕活動をされています、今後も継続して活動されます様お願い致します。

さて、地域奉仕活動事業ではさまざまな献金の拠出が定められています、最新のロースターによれば地域奉仕活動(CS) 献金一人あたり1,500円、TOF(タイム・オブ・ファースト) 献金一人あたり1,400円、FF(ファミリー・ファースト) 献金一人あたり800円、RBM(ロールバックマラリア) 献金一人あたり800円、災害支援金(東日本大震災・熊本地震復興支援金他等) 一人2,000円です。と書かれています。提出期限を守り献金ゼロクラブを目指しましょう。

## 中部メネット主査として

中部メネット主査 数澤淑子



2017-2018年度中部メネット主査として、はや、3か月が過ぎました。今期は西日本区メネット事業方針として「子どもの貧困」が取り上げられています。中部メネットもこのテーマに沿って活動、支援を進めて参りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。先日金沢犀川クラブの9月特別例会(ヤマト糀パーク“ヒシオグラ”他)にメネット主査として参加いたしました。メネット月間としての企画でメネットさん、マゴメットも参加され、和やかで楽しい例会でした。名古屋のメネットさんとは合同メネット会でお目にかかれると嬉しいです。

《合同メネット会の開催について》

先の中部部会で開催案内のチラシをお配りしましたが、11月18日(土)～19日(日)、湯涌温泉「お宿やました」において1泊2日の「合同メネット会」を開催いたします。お誘いあわせの上、多数ご参加くださいますようお願いしています。「中部評議会」も同日開催ですから、評議員の皆様も是非メネット同伴でお越しくださり、久しぶりにゆっくり温泉でお寛ぎ頂き、懇親会では親睦を深めて頂きたいと思えます。詳細は追って第2報をお届けする予定です。

## 語り合おう 伝え合おう 楽しいワイズライフを

金沢クラブ会長 幸正 一誠

金沢クラブは今年、創立70周年を迎えました。長い歴史の中で栄光の時、衰退の時、様々なことを経験して来ました。その度毎に全国のワイズメンズクラブ、ワイズメン、メネットの皆さまのお支え頂き、今日に至っています。深く感謝申し上げます。70年間



良き伝統として今に受け継がれている一つに「例会重視」が有ります。例え今回の中部部会に全員参加でもそれを第一例会とせず、第三木曜日には卓話者を招き第一例会を催す、「例会重視」を大事にしています。他方、特別例会（食事会等）も積極的に開催しクラブ内交流も楽しんでいます。「楽しく無ければワイズじゃない！」をクラブモットーとし月例会も特別例会も賑やかな雰囲気の中で行っています。今期は特に、例会時の「ニコニコタイム」に時間を十分取り、一人一人の日常に起こったハッピーな事、悲しかった事、等をお話し頂きより良き交わりの時としたいと思っています。

この様な『楽しいワイズライフを 語り合い 伝え合っ て行く事』が、金沢クラブの新しい伝統になればと願っています。

## ワイズは楽しく、有意義に 70年の継承と100年に向けての発展を

名古屋クラブ会長 谷川 修

今期、会長を拝命した谷川です。2度目の会長です。70年の歴史ある名古屋クラブですが、会長を2度経験するメンバーは少なく、前会長の河部ワイズを含めて4名ほどです。それだ



け、新しい会員がいつの時代もいたこと、そういう新しい

メンバーに会長を担ってもらおうというのがひとつの名古屋クラブの決まりのようになっているようです。今期は、クラブチャーター70年という節目の年度のため、私に会長をというクラブ員の総意があったため引き受けることとしました。

表題は、今期の主題であり、副題です。ワイズのようなアソシエーションはとにかく楽しくなくてはいけないとの思いと、奉仕団体であるからには、その活動は社会にとって有意義なものでなくてはという想いを表しました。副題は、まさにチャーター70年を意識し、歴史の継承とともに、この先100年を見据え、発展へとつなげたいとの願いです。

ご承知のごとく、名古屋クラブもメンバーの高齢化現象は顕著ですし、会員増強もなかなかかなわないのが最近の状況です。前会長の河部ワイズが、一人多くの新入会者を迎え入れてくれていますが、かつて50名を超えたクラブの隆盛は過去の栄光のような状況です。再び、そういう栄光あるクラブとなっていくには 時代背景も違っているので簡単なことではないのですが、メンバーみんなで名古屋クラブの伝統を思い起こし、地道に確実に活動をすすめ、魅力を社会に発信し、仲間を少しでも広げていく一年にしなければと考えています。幸いにして、年度スタートには2名の新入会員を迎え、これまでにもう1名の新規会員を迎えました。そのうち2名はかつてのメンバーですが、いずれにしろ、これからのクラブを担ってくれる若手であり、希望もてる幸先の良い出発となりました。

クラブチャーター日は70年前の8月26日でした。その記念の日には、初めて愛知牧場でBQ例会、多数のゲストとともに盛り上がりました。ご承知のように、70周年記念例会は、年明け3月4日(日)にアイリス愛知で開催を予定しています。IBC、DBCクラブからも参加してもらって盛り上げてもらおうと思っていますし、交流会も併せて実施の予定です。また、そこで多くのワイズらと親交を深められることが今から楽しみであり、メンバーみんなの願いです。是非、みなさん こそってご参加のほどよろしくお願いたします。



70年前のチャーター記念日に開催されたBQ例会

## 「協働を楽しみ、希望を見つける」

### 2017-18年度スタートに寄せて

名古屋東海クラブ会長 長谷川和宏

この主題を決めた時には思いも寄らなかった。10月に国政で衆議院選挙が行われようとは。私の主題は「協働を楽しみ、希望を見つける」。その「希望」が今話題の用語になるうとは。

イメージが良いのか言葉の響きが良いのか。国政レベルの虚ろな

「希望」志向はさておき、私の意図は一楽しかなければ、続かない。続ける中で新しい発見や希望が見いだせる。東海クラブ50年の歴史はその繰り返しで、常に「なぜワイズのクラブ活動に参加しているの？」を問いかけてきたことではないか。今期もスタートして4か月目。私は2回目のクラブ会長。「予想以上に忙しい。」の一言。自身の処理能力もあるが。協働を楽しみながらやる以外に、この役目は果たせないと思うのだ。この先に希望はきっと見いだせるはずと信じて。10月はYMCA大会から、秋の根の上まつり、そして第1例会(卓話)、ジャガイモ販売、第2例会(懇談・交流)、11月のチャリティーランへと多忙で楽しみな秋は始まった。



## 愉しく、思い出多い集会を目指して

四日市クラブ会長 塚本浩巳

現在会員数は、10名(内広義会員3名)です。20数名の時代から、紆余曲折あって今日に至りました。チャーターメンバーが不在となりました。YMCAが変わろうとしているとき、ワイズも「継続」を基本にして取組みたいと思っています。

会長標語「心を高くあげよう」は、讚美歌2編1番の題名から選びました。歓びの時も、悲しみの時も心を高くあげよう、という内容です。

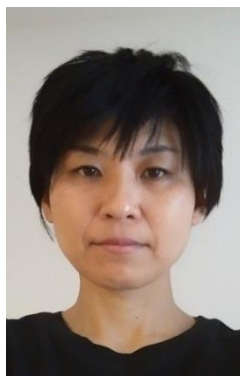
今年4月から財団法人以外のYMCAの色々な職務を担うことになった小生に、最適な讚美歌と思っています。

会は愉しく、思い出多い内容になるよう、工夫したいと願っています。

## 「クラブの定期点検」～活動しやすいクラブでメンバーの心身も健やかに～

名古屋グランパスクラブ会長 下村明子

クラブ設立時の25年前に比べ、携帯電話やメールなどの通信手段、インターネットやSNSなどの情報発信手段が随分と発達しました。その結果あらゆることへのスピードアップが要求され、社会全体が慌ただしくなっていると感じています。そして様々なニーズに対応するため働き方



も多様化、共働きも増えて働く女性たちは勤務中の子どもの預け先を探すのに奮闘しています。YMCAについては学童キャンプのように、従来の会員だけでなく多方面からの利用者が増えたことによりスタッフも対応に追われ、今後ますますワイズメンのサポートが必要となるでしょう。このような状態でYMCAの行事に参加しつつ、従来通り月2回の例会を皆出席でこなせるメンバーは何人いるでしょうか。「今期は思い切って例会を月1回にし、不足分

は発達した通信手段で補おう。」今年の主題を「クラブの定期点検」とし、時の流れに合わせてメンテナンスを行なうことで、参加しやすく生き生きとしたクラブへシフトしていきます。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

## ワイズの輪を 広げよう



津クラブ会長 千賀直道  
亀野会長（予定）より次期（2017～2018）会長の辞退の申し出があり 千賀直道が津クラブの会長を受けることになりました。主題にも掲げました

が、現4名でのクラブ運営には限界があります。設立から25年の節目になります。原点に戻り 会員確保に努めたいと思います。プラス1例会各地のワイズメンズクラブで実施されていますが、まずは一人が一人を迎えて充実した例会を实践できるように努めたい。ワイズやYMCAの理解は大変な努力がいると思いますが急がず、時間をかけて話し理解者を増やす努力をします。目標は若い人を確保したい。中部の皆さんの助言をいただければ幸いです。皆様のご指導、ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

## クラブ会長の抱負

金沢犀川クラブ会長 北 肇夫



金沢犀川クラブが更に発展するように結束し、いっそう魅力的な活動を展開したい。

1. 会長主題『ワイズの輪を広げよう！』
2. 活動方針
- 1) 会員増強活動

- ・会員増強をクラブ運営の第一目標として、成果を出したい。
- ・会員各自の長所や得意分野を活かして質の高い活動を展開しており、これを継続したい。
- ・例会充足率の導入が会員各自の諸活動によりクラブの活性化に繋がるようにしたい。
- 2) 情報の伝達
  - ・HP やEメールの活用を継続し、例会などの参加者を増やし、認知度を高めてゆきたい。
- 3) 金沢 YMCA への支援
  - ・金沢 YMCA や金沢クラブとの3団体協議の場を設け、円滑な事業の実施に結び付けたい。
  - ・地域コミュニティーの醸成に繋がる諸活動を通じて、地域の絆をいっそう深めたい。
- 4) クラブ創立25周年記念行事
  - ・クラブチャーター25周年の節目の年度に当り、身の丈に合った記念を開催することができるよう健康維持に心がけたい。